

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 41 週（10月9日～10月15日）

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 細菌性赤痢	1 人 病原体 <i>S. Sonnei</i> 推定感染地域 国内
腸管出血性大腸菌感染症	4 人 類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 3 人 血清型 O157 1 人、O26 1 人、 O103 1 人、O121 1 人
腸チフス	1 人 推定感染地域 国外
四類感染症 デング熱	1 人 推定感染地域 ネパール
レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Escherichia</i> sp. 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 A群
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
梅毒	11 人 病型 早期顕症Ⅰ期 8 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
播種性クリプトコックス症	1 人
百日咳	1 人 年齢階級 1 歳

<新型コロナウイルス感染症発生状況>

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(5.28→3.85:図 1)は、前週と比較して減少した。基幹定点における入院患者の報告は 18 人（前週 30 人）であった。

<定点把握対象疾患の患者情報>

インフルエンザ（16.08→19.69:図 2-1～3）の定点当たり報告数は、前週と比較し増加した。保健所別では、春日部(11.40→25.90)保健所管内で前週と比較して大きく増加し、狭山(30.71)、幸手(28.93)、川口市(27.75)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、5～9 歳の報告が多い。咽頭結膜熱(2.30→2.22:図 3-1～2)の定点当たり報告数は、前週と同水準であったものの、例年と比較して非常に多い状況にある。保健所別では、幸手(7.22)、越谷市(5.38)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、2～5 歳の報告が多く、全体の約 6 割を占めた。

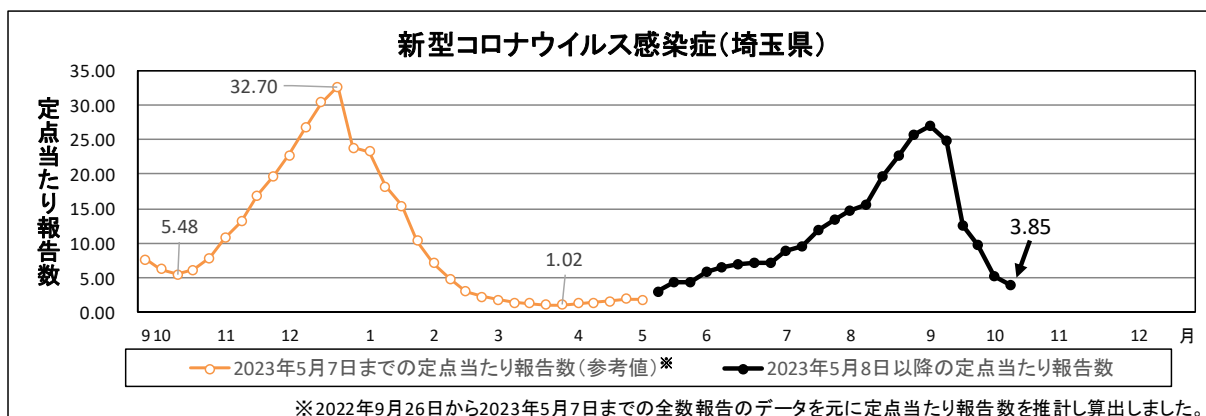
眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 42 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 1 人、インフルエンザ（入院）11 人（前週 15 人）の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第41週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第41週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

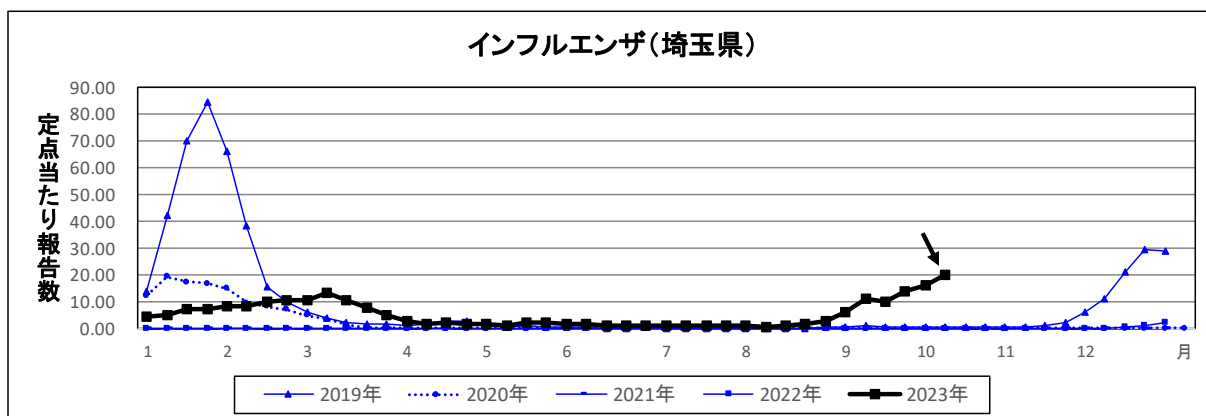


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（第39週～第41週）

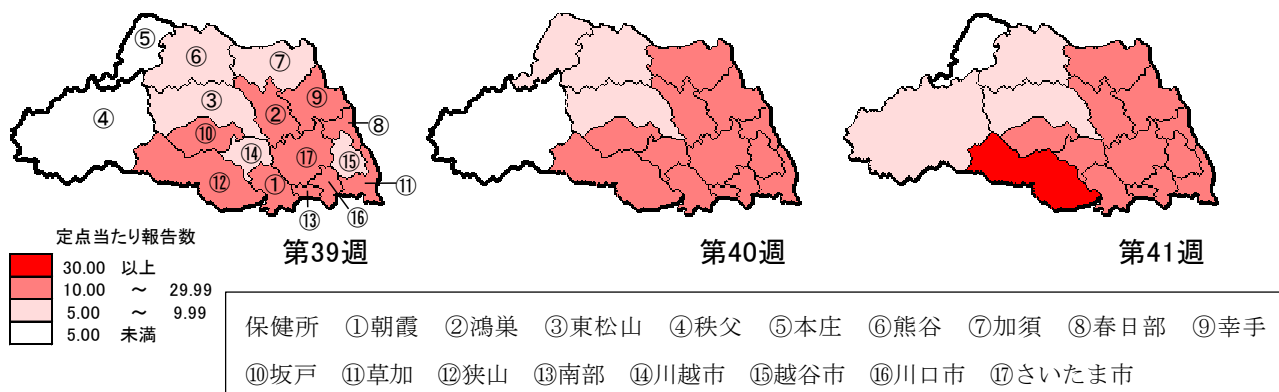
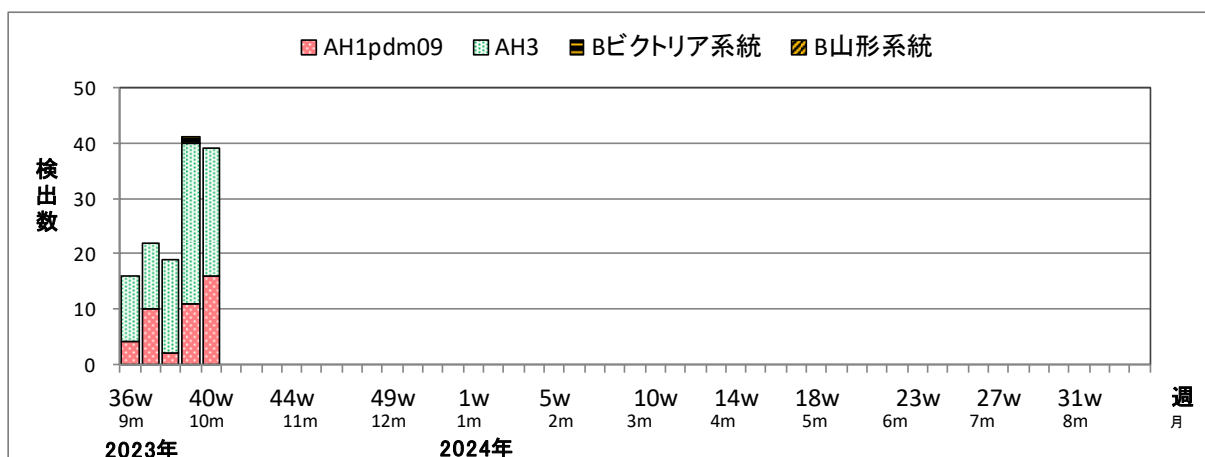


図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2023年第38週～第40週（2023年9月18日～10月8日）の3週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別が終了した100検体は、AH3型が69検体(69.0%)、AH1pdm09型が29件(29.0%)、B型（ビクトリア系統）が1検体(1.0%)でした。また、1検体はA（亜型不明）でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移

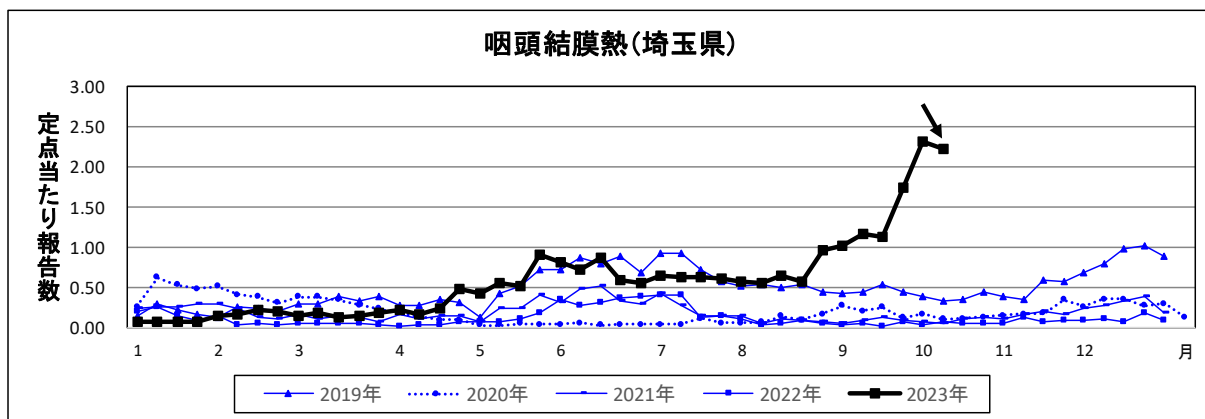
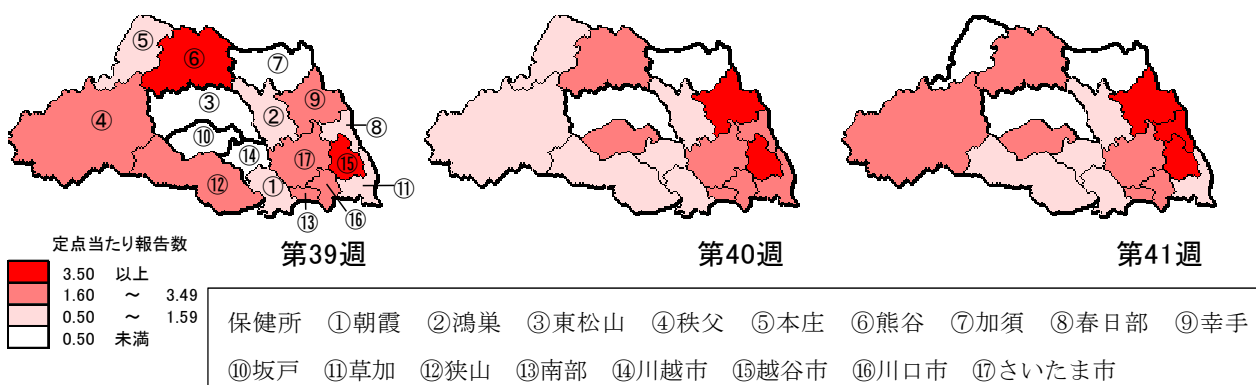


図 3-2 咽頭結膜熱の保健所別流行状況の推移（第39週～第41週）



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第41週)

(2023年10月17日 16:45集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス	1	3
細菌性赤痢	1	7	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	4	139			
四類感染症					
E型肝炎		35	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		5	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	85
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱	1	6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		24	侵襲性肺炎球菌感染症	2	60
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		6	水痘(入院例に限る)		10
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	50	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		5	梅毒	11	365
急性脳炎		29	播種性クリプトкокクス症	1	6
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		6	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	35	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		22	百日咳	1	63
ジアルジア症		3	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		9	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2023年9月分)

2023年9月の届出総数は、患者48人、無症状病原体保有者13人の計61人であった。前月と比べると患者数及び無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比較して、患者数及び無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内42人、国外4人、不明15人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2022年9月～2023年9月)

	2022年*				2023年										累計**
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
総計	60	64	59	47	73	61	72	63	62	67	57	59	61	575	
年齢階級															
10歳未満	2	2	0	1	1	1	1	4	2	4	1	1	0	15	
10歳代	2	2	0	1	2	0	1	1	0	1	1	0	1	7	
20歳代	0	7	3	3	9	4	6	7	3	7	14	5	6	61	
30歳代	4	4	5	3	5	6	7	10	5	1	1	3	2	40	
40歳代	4	4	3	1	5	3	10	3	2	5	2	1	3	34	
50歳代	6	8	9	9	8	5	7	4	7	6	5	5	10	57	
60歳代	6	6	6	3	8	11	6	9	8	8	9	5	10	74	
70歳代	12	14	14	12	17	13	14	10	11	12	14	19	7	117	
80歳代	18	12	13	12	16	16	14	11	18	17	7	16	16	131	
90歳以上	6	5	6	2	2	2	6	4	6	6	3	4	6	39	
性															
男	28	41	39	34	46	32	40	45	34	38	38	40	39	352	
女	32	23	20	13	27	29	32	18	28	29	19	19	22	223	
類型															
患者	45	41	40	34	51	44	47	35	46	35	47	49	48	402	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
無症状病原体保有者	15	23	19	13	21	16	25	28	16	31	10	10	13	170	
病型															
肺結核	31	28	28	29	34	30	31	24	29	27	37	35	38	285	
肺結核及びその他の結核	6	6	3	0	7	6	3	3	6	5	3	7	1	41	
その他の結核	8	7	9	5	10	9	13	8	11	4	7	7	9	78	
疑似症患者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
無症状病原体保有者	15	23	19	13	21	16	25	28	16	31	10	10	13	170	
推定感染地域															
国内	40	35	39	22	42	43	46	44	38	41	27	37	42	360	
国外	2	2	2	5	8	4	3	3	3	3	11	5	4	44	
不明	18	27	18	20	23	14	23	16	21	23	19	17	15	171	

*:2022年の届出数は暫定値

** :2023年1月からの累積届出数

9月に診断された61人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計38人の報告があり、60歳代以上が23人で60%を占めた。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2023年9月分)

年齢階級	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	38	1	9	0	13	61
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	4	0	2	0	0	6
30歳代	1	0	0	0	1	2
40歳代	1	0	0	0	2	3
50歳代	9	0	0	0	1	10
60歳代	7	0	1	0	2	10
70歳代	4	0	1	0	2	7
80歳代	10	0	3	0	3	16
90歳以上	2	1	2	0	1	6

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第41週

10月9日～10月15日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 5,119	1,001	10	364	478	559	21	330	3	36	33	4	1	42	-	2	1	-	-	11	18	
	19.69	3.85	0.06	2.22	2.91	3.41	0.13	2.01	0.02	0.22	0.20	0.02	0.02	1.00	-	0.17	0.08	-	-	0.92	1.50	
朝 霞	報告数 420	68	2	13	75	48	4	30	1	1	3	-	-	5	-	-	-	-	-	4	2	
	18.26	2.96	0.13	0.87	5.00	3.20	0.27	2.00	0.07	0.07	0.20	-	-	1.25	-	-	-	-	-	4.00	2.00	
鴻 巣	報告数 449	68	-	12	48	45	1	42	-	5	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	23.63	3.58	-	1.00	4.00	3.75	0.08	3.50	-	0.42	-	0.08	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 59	31	-	1	1	8	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	7.38	3.88	-	0.20	0.20	1.60	-	1.00	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
秩 父	報告数 25	20	-	9	5	-	-	5	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1	
	5.00	4.00	-	3.00	1.67	-	-	1.67	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	1.00	
本 庄	報告数 25	30	-	1	-	-	-	13	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.57	4.29	-	0.25	-	-	-	3.25	-	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊 谷	報告数 110	80	-	26	18	15	-	20	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	
	8.46	6.15	-	3.25	2.25	1.88	-	2.50	-	0.13	0.13	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	1.00	
加 須	報告数 124	35	-	1	7	1	2	8	-	2	6	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	
	12.40	3.50	-	0.17	1.17	0.17	0.33	1.33	-	0.33	1.00	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	2.00	
春 日 部	報告数 259	44	1	22	36	77	2	20	-	-	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	25.90	4.40	0.17	3.67	6.00	12.83	0.33	3.33	-	-	-	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 405	81	1	65	56	14	1	17	-	3	1	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	28.93	5.79	0.11	7.22	6.22	1.56	0.11	1.89	-	0.33	0.11	0.11	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 187	50	-	10	3	13	2	17	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	
	18.70	5.00	-	1.67	0.50	2.17	0.33	2.83	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	4.00	
草 加	報告数 470	111	-	17	30	42	3	18	-	2	3	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	24.74	5.84	-	1.42	2.50	3.50	0.25	1.50	-	0.17	0.25	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 737	116	2	25	30	44	-	19	-	3	1	-	1	5	-	-	-	-	-	3	3	
	30.71	4.83	0.13	1.56	1.88	2.75	-	1.19	-	0.19	0.06	-	0.20	1.00	-	-	-	-	-	3.00	3.00	
南 部	報告数 184	47	2	9	38	40	1	10	1	3	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	23.00	5.88	0.40	1.80	7.60	8.00	0.20	2.00	0.20	0.60	0.40	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	
川 越 市	報告数 231	28	-	10	12	13	-	15	-	2	1	-	-	5	*	*	*	*	*	*	*	
	16.50	2.00	-	1.25	1.50	1.63	-	1.88	-	0.25	0.13	-	-	2.50	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 271	54	-	43	18	20	1	24	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	20.85	4.15	-	5.38	2.25	2.50	0.13	3.00	-	0.38	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	
川 口 市	報告数 555	67	-	40	57	83	1	40	-	6	6	1	-	5	-	-	-	-	-	1	2	
	27.75	3.35	-	3.08	4.38	6.38	0.08	3.08	-	0.46	0.46	0.08	-	1.25	-	-	-	-	-	1.00	2.00	
さいたま市	報告数 608	71	2	60	44	96	3	27	1	4	1	1	-	13	-	2	-	-	-	1	2	
	14.14	1.65	0.07	2.14	1.57	3.43	0.11	0.96	0.04	0.14	0.04	0.04	-	1.44	-	2.00	-	-	-	1.00	2.00	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

10月

17日

13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患) 報告患者数 年齢別 (2023年第41週 10月9日～10月15日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	5,119	16	24	108	117	173	244	327	365	370	402	365	1,243	332	215	281	286	130	59	45	17	
新型コロナウイルス感染症	1,001	6	25	20	12	19	12	13	4	16	24	17	99	69	103	105	113	120	83	77	64	
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	10	1	3	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1							
咽頭結膜熱	364	3	11	36	65	47	55	52	35	24	14	6	7	2	7							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	478	1	1	9	18	25	40	60	71	77	50	33	58	2	33							
感染性胃腸炎	559	5	36	84	52	58	56	62	38	37	30	28	46	1	26							
水痘	21	-	-	2	3	-	1	-	1	2	3	3	5	-	1							
手足口病	330	2	12	77	63	68	46	31	11	7	4	3	3	-	3							
伝染性紅斑	3	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	36	-	4	20	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	33	1	5	5	5	2	6	4	1	1	-	-	2	-	1							
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1							
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	42	-	-	4	1	3	1	1	-	3	-	2	3	-	6	6	9	1	1	1	1	1
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	11	-	2	2	3	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新型コロナウイルス感染症(入院)	18	2	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第39週 (9月25日～10月1日)

令和5年10月18日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(25.93)、千葉県(19.56)、大分県(19.55)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は252例と前週と比較して増加した。都道府県別では40都道府県から報告があり、年齢別では0歳(7例)、1～9歳(101例)、10代(30例)、20代(5例)、30代(9例)、40代(9例)、50代(5例)、60代(12例)、70代(33例)、80歳以上(41例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は愛知県(12.40)、熊本県(11.30)、茨城県(10.73)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,011例であった。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(52例)、1～9歳(67例)、10代(31例)、20代(29例)、30代(46例)、40代(57例)、50代(129例)、60代(183例)、70代(463例)、80歳以上(954例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(1.50)、福島県(1.18)、岩手県(0.83)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(5.73)、沖縄県(4.48)、大阪府(4.24)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.26)、福岡県(3.28)、埼玉県(3.16)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(7.36)、香川県(6.25)、福井県(5.40)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(6.13)、新潟県(4.16)、宮崎県(3.92)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.10)、島根県(0.04)、茨城県(0.03)、東京都(0.03)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.30)、福岡県(2.23)、山形県(2.14)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は福島県(0.12)、香川県(0.11)、愛媛県(0.11)、宮崎県(0.11)である。

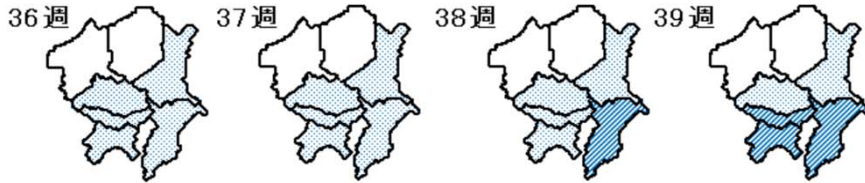
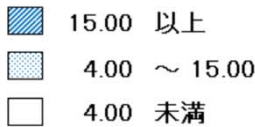
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は青森県(0.50)、岩手県(0.26)、奈良県(0.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は増加した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第39週(9月25日～10月1日): 通巻第25巻 第39号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、千葉県(19.56)、東京都(16.58)、神奈川県(15.05)からの報告が多い。

インフルエンザ



2023年 39週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	47,346	22,067	1,439	280	318	3,648	3,991	6,913	5,478
	定点当たり	9.57	14.43	11.99	3.68	3.66	13.98	19.56	16.58	15.05
新型コロナウイルス感染症	報告数	43,705	13,316	1,287	681	663	2,548	2,165	2,951	3,021
	定点当たり	8.83	8.71	10.73	8.96	7.62	9.76	10.61	7.08	8.30
RSウイルス感染症	報告数	718	125	13	19	9	46	3	17	18
	定点当たり	0.23	0.13	0.17	0.40	0.17	0.28	0.02	0.06	0.08
咽頭結膜熱	報告数	5,698	1,525	115	37	66	284	199	549	275
	定点当たり	1.81	1.59	1.53	0.77	1.22	1.73	1.57	2.10	1.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,194	1,988	162	53	66	518	277	521	391
	定点当たり	1.97	2.07	2.16	1.10	1.22	3.16	2.18	1.99	1.70
感染性胃腸炎	報告数	9,725	3,084	219	59	206	630	420	934	616
	定点当たり	3.09	3.21	2.92	1.23	3.81	3.84	3.31	3.56	2.68
水痘	報告数	321	91	3	3	3	25	7	30	20
	定点当たり	0.10	0.09	0.04	0.06	0.06	0.15	0.06	0.11	0.09
手足口病	報告数	5,557	1,949	73	134	128	334	302	517	461
	定点当たり	1.77	2.03	0.97	2.79	2.37	2.04	2.38	1.97	2.00
伝染性紅斑	報告数	32	17	2	1	-	1	2	9	2
	定点当たり	0.01	0.02	0.03	0.02	-	0.01	0.02	0.03	0.01
突発性発しん	報告数	790	221	15	6	14	40	35	73	38
	定点当たり	0.25	0.23	0.20	0.13	0.26	0.24	0.28	0.28	0.17
ヘルパンギーナ	報告数	2,128	497	19	26	39	93	51	153	116
	定点当たり	0.68	0.52	0.25	0.54	0.72	0.57	0.40	0.58	0.50
流行性耳下腺炎	報告数	152	62	1	2	4	17	6	18	14
	定点当たり	0.05	0.06	0.01	0.04	0.07	0.10	0.05	0.07	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	11	3	-	-	-	1	-	1	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.02	-	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	620	285	38	6	4	46	29	51	111
	定点当たり	0.89	1.36	2.24	0.50	0.29	1.10	0.85	1.31	2.18
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	12	5	-	-	-	1	2	2	-
	定点当たり	0.02	0.06	-	-	-	0.08	0.22	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	21	2	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.04	0.02	0.08	-	-	-	-	-	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)

感染症発生動向調査
2023年

▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)

▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)

▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)

▶ [感染症の流行状況 2023年](#)

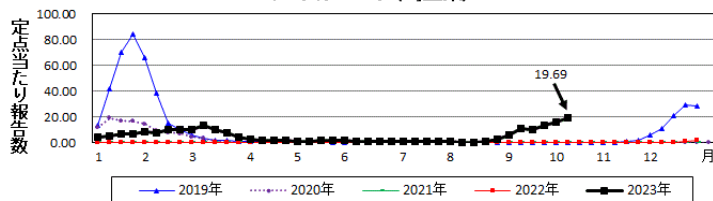
感染症の流行状況 2023年 第41週

2023年第41週（10月9日～10月15日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	→	★★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン